



代々木果廻会「頼政」

令和五年六月二十四日(土)

於代々木能舞台午後五時半始

(五時開場・八時頃終演予定)

代々木果廻会
お申込フォーム↓



仕舞

半

節クセ

小早川康充

水無月祓

小早川泰輝

【仕舞】

半 節クセ

水無月祓

小早川康充
小早川泰輝

地謡 浅井 文義
馬野 正基
北浪 貴裕
武田 崇史

【能 頼政】

シテ 源頼政 浅見 慈一
ワキ 旅僧 大日方 寛
間 里人 高澤 祐介
笛 藤田 貴寛
小鼓 田邊 恭資
大鼓 亀井 広忠

後見 浅井 文義
武田 尚浩
地謡 小早川 修
松木 千俊
馬野 正基
北浪 貴裕
小早川 泰輝
小早川 康充

能 頼政

より

まさ

浅見 慈一



告知動画

頼政 (よりまさ) あらすじ

季節は初夏。旅僧が山城国宇治の里に着く。里の景色を眺めていると一人の老人が現れた。老人は旅僧に里の名所を教え、平等院へと案内する。院内の庭に芝が扇の形に取り残されている事を老人に問うと、その場こそ源三位頼政が宇治の戦いで敗れ自害した場所、また今日は合戦の当日であり、老人は自分が頼政の亡霊なのだと明かしつつ消えた。(中入)

僧が頼政を吊っていると、老武者ながらも鎧武者姿で頼政が現れた。頼政は宇治合戦に善戦するも平家方の勢いに陣を失い破れ、辞世の句を残して自害して果てる。やがて頼政の霊は吊いを求め扇の芝へと消えていった。頼政の語る仕方話は頼政と平家方の青年武将忠綱の二人に人称が入れ替わり、勇壮な謡と囃子に乗って表現される段の演出は、戦いの華々しさ、悲しさに満ちて見所、聞き所となる。

主催 代々木果廻会

お問い合わせ

Mail info@yoyoginoubutai.com

FAX 03-3370-2757・TEL 090-1208-8453 (小早川)

前売券※当日券 1,000 円増

一般 5,500 円

学生 3,000 円

ミニ・レクチャー付(二十分) 講師 倉持 長子